学校便り

小宿小学校 9月号

児童数316人（R8.9.1現在）

令和8年9月28日

2学期も 職員・保護者・地域みんなで 子供たちのために

校長 根釜文子

夏休みを終え、子供たちの元気な姿が学校に戻ってきました。2学期初めは疲れ気味だろうなと予想していましたが、「校長先生、やっぱ学校はいいね！」「2学期が始まるのが楽しみだったんだよ！」と言ってくれる小宿っ子の笑顔に、**「どの子にとっても安心・安全で、たくさんの友達や先生と触れ合いながら成長できる、居心地のよい学校」**をさらに作っていかなければと、気持ちを新たにしたところです。どうか 2 学期も、保護者の皆様、地域の皆様のお力をお貸しください。子供たちのために素晴らしい小宿小をみんなで作っていきましょう。2学期もどうぞよろしくお願いします。

1つお詫びとお知らせです。今年の運動会が、ある幼稚園と重なっており、PTA総会等でもご意見をいただき、学校にとっても全家庭にとっても、いい日にちはないだろうかと検討に検討を重ねましたが、どうしても10月18日の午前中から動かすことができませんでした。本当にすみません。その代わりに、8:30 開始にして、できるだけ早く終われるように計画しているところです。子供たちも自分の活躍を多くの方々に見ていただくのを楽しみに、これからの練習を頑張っていきますので、どうぞたくさんのご来場・応援をどうぞよろしくお願いします。

全国学力・学習状況調査について

4月23日に行われた全国学力・学習状況調査の結果が届きました。

	国語	算数
小宿小	50	41
鹿児島県	61	55
全国	60.9	56.4
全国との差	-10.9	-15.4

大変厳しい結果となりました。子どもたちが将来たくましく生きていくためには、学力だけでなく、困難に立ち向かう力（耐性）や失敗から立ち直る力（レジリエンス）が必要です。家庭では、結果だけでなく努力や挑戦を認め、子ども自身に考えさせる機会を大切にしてください。また、失敗を責めるのではなく、「次はどうするか」を一緒に考えることで、子どもの心の強さを育んでいきましょう。

特に本校のように学力向上が重点課題となっている状況では、学校での「粘り強く考える授業」と家庭での「挑戦を認める子育て」が両輪となることで、子どもたちの耐性・レジリエンスが高まり、結果として学力向上にもつながっていくと考えられます。家庭でできる「耐性」「レジリエンス」の向上について、Copilot に聞いてみました。

①すぐに助けすぎない…「少し困る経験」を乗り越えることが、耐性を育てます。
声かけ例：「どうしたらいいと思う？」「何か方法はないかな？」「何から始める？」
②家庭で役割をもたせる…自己有用感が高まると、失敗にも強くなります。
役割例：食器運び、洗濯物たたみ、風呂掃除、ゴミ出し など
大切なのは、「ありがとう。助かったよ。」と感謝を伝えることです。
③失敗を責めない…失敗を責める文化ではなく、失敗から学ぶ文化をつくる。
例：×「なんでできなかったの？」 → ○「次はどうしたらよさそう？」

現状を打破するために、学校と家庭と力を合わせて取り組んでいきましょう。

◆◇◆今後の行事予定◇◆◇

10 月

2	金	前期通知表配布
6	火	運動会係打合せ
15	木	運動会準備
18	日	第79回運動会
19	月	代替休暇
26	月	小中合同研修会②
29	木	市小学校陸上記録会

11 月

5	木	学校自由参観日（6日まで）
		市小・中学校音楽発表会（4年）
6	金	学校評議員会②
8	日	奄美市民体育祭
10	火	修学旅行（12日まで：6年）
13	金	休養措置日（6年）
16	月	マイゴールチャレンジ（22日まで）
24	火	知根小学校との交流学習②
27	金	2学期図書貸出終了日
		支援学級 PTA

～スクールカウンセラー来校日～

10 月…5日（月）AM、15日（木）AM、
22日（木）PM【10月計3回】

11 月…6日（金）AM、19日（木）PM、
30日（月）AM【11月計3回】